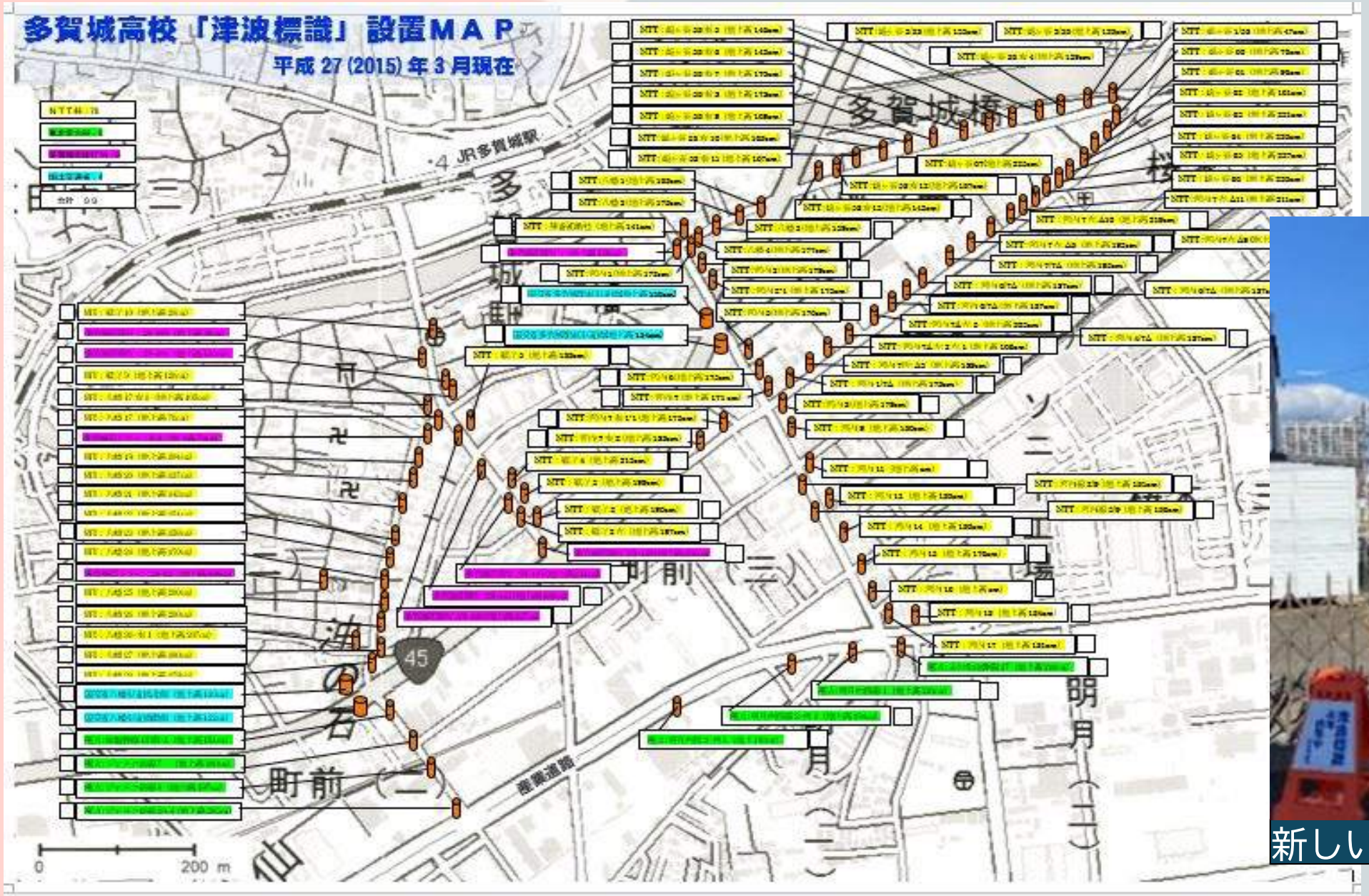
3．多賀城津波伝承まち歩き

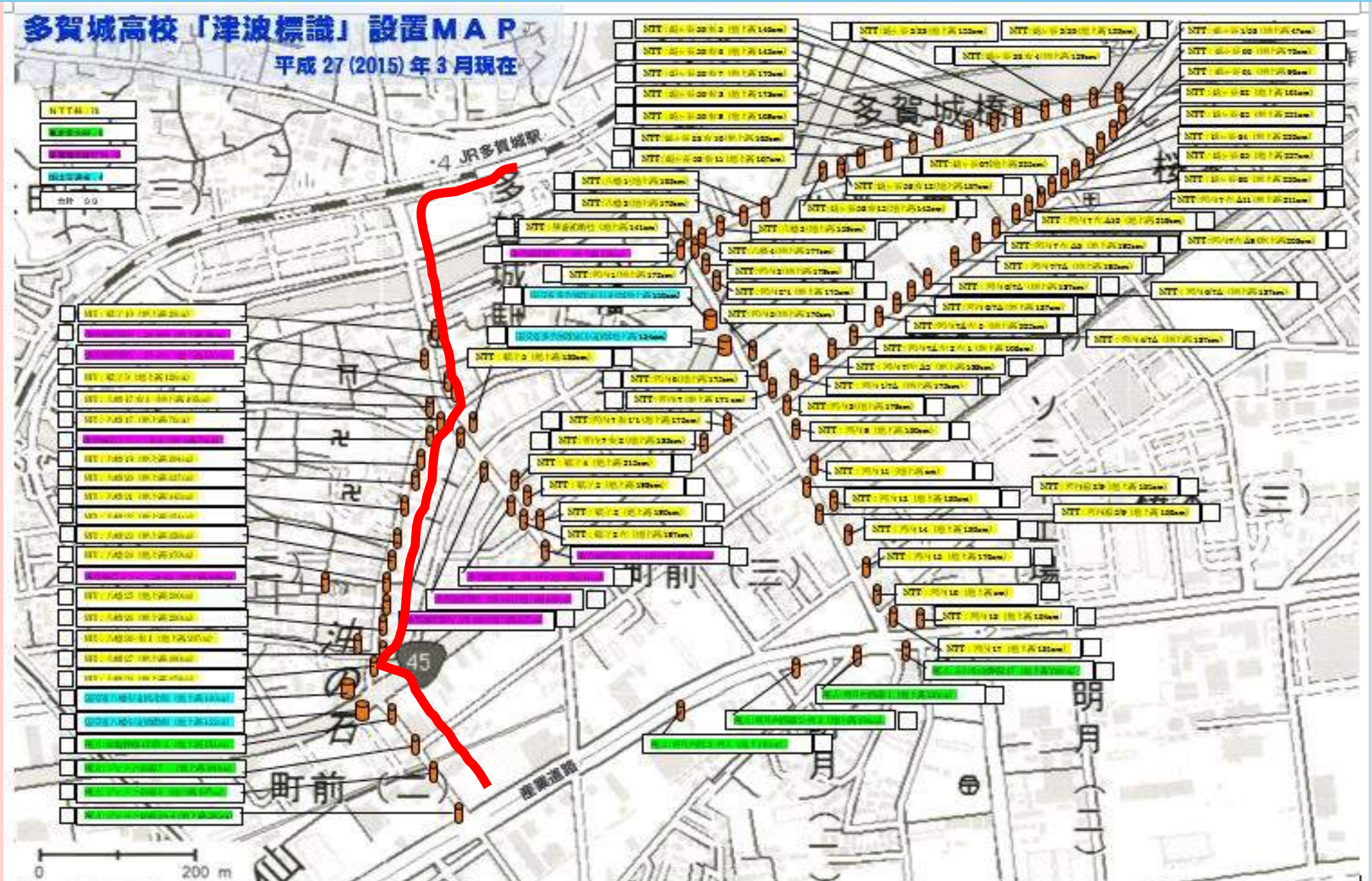
東日本大震災の
被害と教訓の伝承

伝災活動「津波波高標識設置活動」



新しい標識への張り替え作業

伝災活動「津波伝承まち歩き」



伝災活動「津波伝承まち歩き案内」

当時の映像を同じ場所で視聴
イオン多賀城店屋上

設置した津波標識をたどりながら
多賀城市内の被災状況を説明

末の松山

ちぎりきな　かたみに袖を　しぼりつつ
すゑの松山　浪こさじとは

「まち歩き」スタート地点（イオン多賀城店４階屋上）

伝災活動「津波伝承まち歩き案内」

当時の映像を同じ場所で視聴
イオン多賀城店屋上

設置した津波標識をたどりながら
多賀城市内の被災状況を説明

末の松山

ちぎりきな　かたみに袖を　しぼりつつ
すゑの松山　浪こさじとは

多賀城まち歩きを
たくさんの人に

宮城県多賀城高等学校　2学年　災害科学科
阿部愛　釘宮沙英　鈴木蓮　真部航成

研究背景、目的

◎研究背景

　2011年3月11日に発生した東日本大震災から、まもなく15年が経過しようとしている。時間の経過とともに、当時の記憶や教訓は少しずつ風化し、震災を実際に経験していない世代も増えてきている。「津波伝承まち歩き」は、震災の記憶を後世に伝える有効な取り組みである。しかし、現在は知名度が十分とは言えず、参加者が限られているという課題がある。

◎目的

　日時や場所の制限にとらわれず、誰でも・どこでも気軽に「津波伝承まち歩き」を体験できる環境を整えることで、体験者数を増やし、東日本大震災の記憶と教訓の伝承に貢献することを目的として活動に取り組んでいる。

仮説・研究方法

◎仮説

津波被害の学習において、「動画による疑似的な
津波伝承まち歩き」体験においても、
「現地でのまち歩き」体験と同等の効果がある。

◎研究方法

１．津波伝承まち歩きで案内する場所で説明動画撮影し、
　　説明動画をGoogle Maps上に投稿。

２．説明動画を通して、津波伝承まち歩きを現地で実施し
　　た場合と同じ効果を得られるかをアンケートによって比較。

①多賀城津波伝承まち歩きを現地実施した場合

②説明動画を視聴した場合

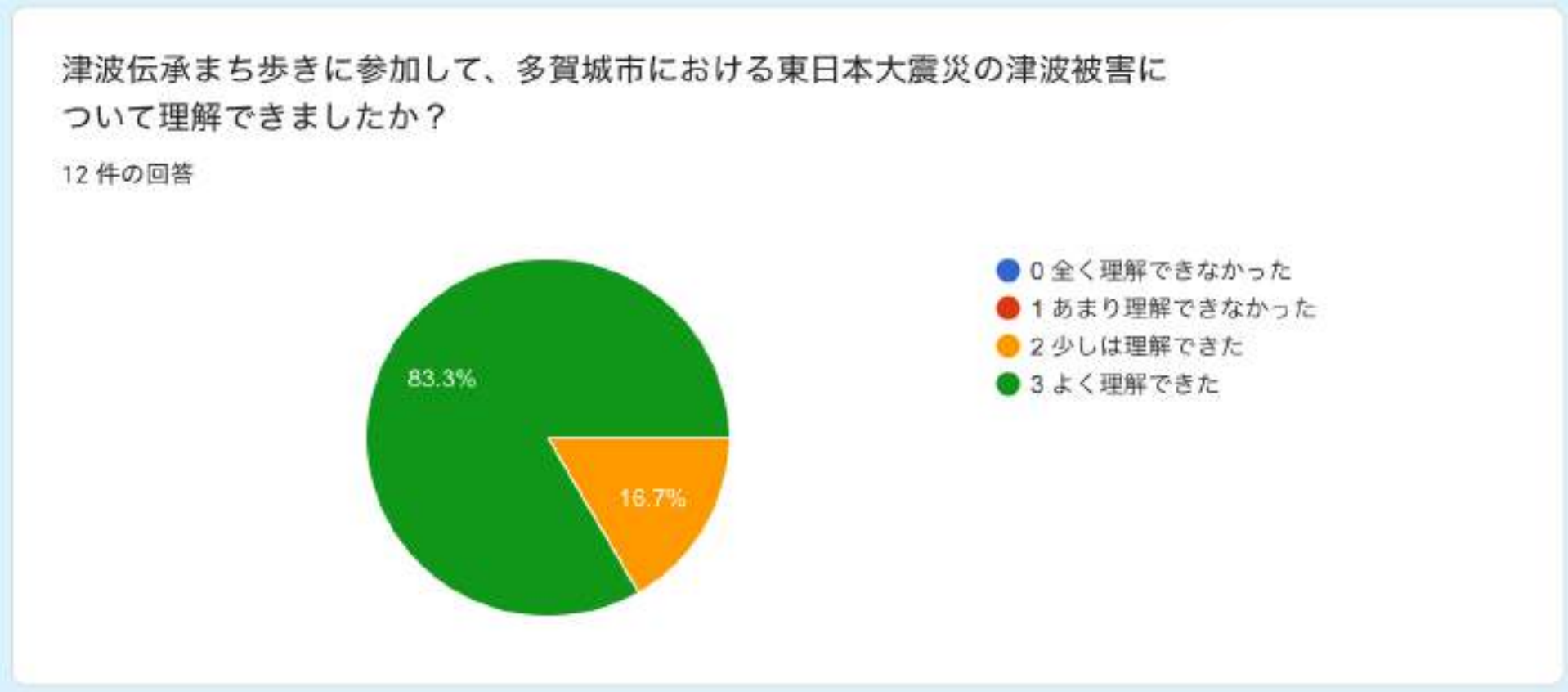
①、②の効果を比較。②の方が効果が低かった場合は①を参考に改善

ここは多賀城まち歩きのスタート地点です
This is the starting point for walking around
Tagajo town.

研究結果

現地で津波伝承まち歩きを実施した際のアンケート結果

◎津波被害について理解できた：83.3%が「よく理解できた」



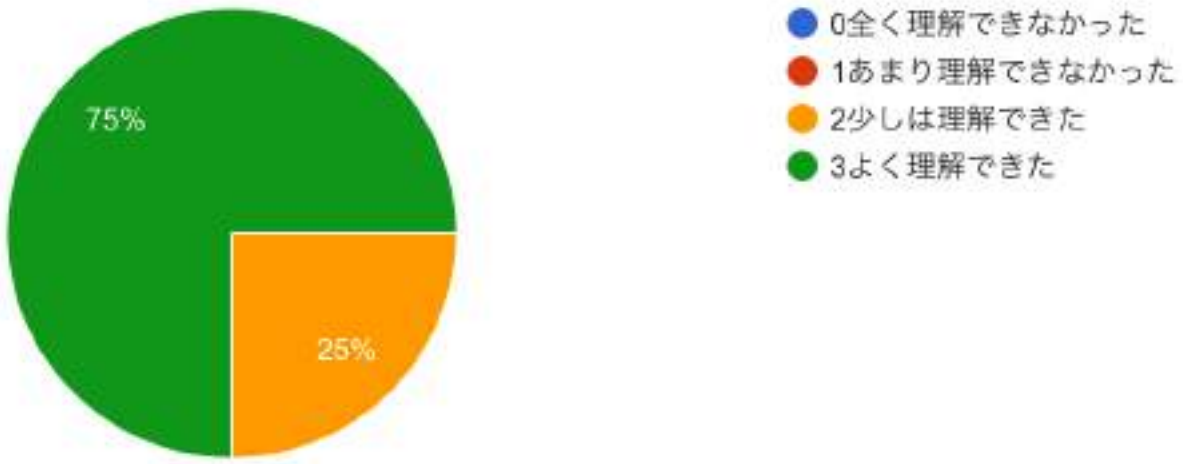
研究結果

現地で津波伝承まち歩きを実施した際ののアンケート結果

◎都市型津波の恐ろしさについて理解できた：75%が「よく理解できた」

津波伝承まち歩きに参加して、多賀城市における東日本大震災の都市型津波の恐ろしさについて理解できましたか？

12 件の回答



まとめ、今後の展望

◎1回目のアンケートの改善点を踏まえて、作成した説明動画と「津波伝承まち歩き」を改善していく。

◎ポスターを作成して近隣の学校などに配り、「津波伝承まち歩き」の周辺地域での知名度を高める。

◎県外においても知名度を高めるため、積極的に発信活動をする。

12/20に金沢大学で岩手県、宮城県、福島県の三県合同セミナーに参加した。

（「新しい東北」官民連携推進協議会/復興庁　主催）

多賀城高校

Ris Hall
Nikon Z 5, 24mm, f

補足資料：災害科学科設立までの経緯

宮城県の防災教育の推移

平成23年
(2011)

東日本大震災発生

防災教育推進のための体制整備の必要性

復興懇話会
震災復興計画

平成24年
(2012)

震災の教訓を
後世に伝える

危機意識の
高揚

防災教育の
体制整備

みやぎ学校安全
基本指針の策定

防災主任

防災担当
主幹教諭

幼・私・国立
防災担当者

平成25年
(2013)

新県立高校将来構想

高校に防災系学科

災害科学科設置まで

平成23年（2011）

東日本大震災発生

平成24年（2012）

新県立高校将来構想　【防災系学科設置基本構想案】

平成25年（2013）

多賀城高校へ設置決定

【基本構想確定】

- 教育課程
- SSH
- 防災学習
- 社会貢献
- 地域連携
- 震災伝承
- 国際理解
- 発信

理系

平成26年（2014）

平成27年（2015）

災害科学科設置まで

平成23年（2011）

平成24年（2012）

平成25年（2013）

平成26年（2014）

平成27年（2015）

平成28年（2016）

東日本大震災発生

新県立高校将来構想　【防災系学科設置基本構想案】

多賀城高校へ設置決定

【基本構想確定】

- 教育
- SSH
- 防災学習
- 社会貢献
- 地域連携
- 震災伝承
- 国際理解
- 発信

学科名　**災害科学科**